2 事業内容

(事業全体について詳しく記載してください。複数ページになっても構いません。)

(1) 事業の具体的な内容

(2) 本事業の動機・きっかけ及び将来の展望

(3) 本事業の知識、経験、人脈

(4) 創業準備の着手状況（土地・店舗の取得、商品の仕入れ、許認可の取得等の状況）

(5) 羽村市らしさ（第二次羽村市産業振興計画 基本理念との合致）

※以下の3つの基本理念から、ご自分の事業計画が、市の産業振興の推進にどのように寄与できるか、ご記載ください。

1. 集積を生かした連携と新たなチャレンジ
2. 羽村らしさのブランディングと魅力発信
3. 地域に根差した産業の活性化とにぎわいの創出

(6) 本事業全体に係る資金計画(新事業の立ち上げに必要な資金と調達方法を記載してください。)

(単位：千円)

必要な資金		金額	調達の方法	金額
設備資金	(内容) ①賃貸物件の敷金・礼金 ②内装工事 ③パソコン ④〇〇 ⑤〇〇 ⑥〇〇 ⑦〇〇	①500 ②2,000 ③150 ④〇〇 ⑤〇〇 ⑥〇〇 ⑦〇〇	自己資金	1,566
			金融機関からの借入金 (調達先) 〇〇銀行	5,000
	補助金に係る部分だけでなく、 事業に係る全ての資金を記載 してください。		設備資金の合計	5,000
運転資金	(内容) ①家賃 ②商品の仕入れ ③広報費 ④〇〇 ⑤〇〇	①150 ②200 ③500 ④〇〇 ⑤〇〇	その他(本事業の売上金、親族からの借入金等) (内容)	0
			補助金交付申請額 補助金は補助事業実施期間終了後に 支払います。補助金支払いまでの間、 申請者自身で申請相当額を手当して いただく必要があります。その手当方 法について、下表の「補助金交付申請 額相当額の手当方法」に記載してくだ さい。	434
	補助金に係る部分だけでなく、 事業に係る全ての資金を記載 してください。		運転資金の合計	2,000
合 計		7,000	合 計	7,000

「必要な資金」と「調達の方法」の合計は一致させてください。

【金融機関からの外部資金の調達見込みについて】

- ① 既に調達済み
- ② 補助事業実施期間中に調達見込みがある
- ③ 将来的に調達見込みがある

金融機関からの借入金がある場合は丸をしてください。

【補助金交付申請額相当額の手当方法】

(単位：千円)

方 法	金額
自己資金	434
金融機関からの借入金 (調達先：)	
その他 (調達先：)	
合計額	434

補助金交付申請額の補助金交付までの
手当方法を記載してください。

(7) 事業スケジュール

実施時期	具体的な実施内容
1年目	
2年目	
3年目	

(8) 売上・利益等の計画

	1年目 (年月～年月期)	2年目 (年月～年月期)	3年目 (年月～年月期)
(A) 売上高	千円	千円	千円
(B) 売上原価	千円	千円	千円
(C) 売上総利益(A-B)	千円	千円	千円
(D) 販売管理費	千円	千円	千円
営業利益(C-D)	千円	千円	千円
従業員数	人 (うちパート・アルバイト 人)	人 (うちパート・アルバイト 人)	人 (うちパート・アルバイト 人)
積算根拠			

収 支 予 算 書

1. 収入と 2. 支出（補助対象経費）の合計を一致させてください。

1. 収入（補助対象経費に係るもの）

（単位：円）

	金 額	内 訳
自己資金	217,180	
借入金		
補助金	434,000	羽村市創業支援補助金
合 計	651,180	

2. 支出

補助対象経費に消費税は含まれませんので、税抜き価格を記入してください。

（単位：円）

	補助対象経費	補助金交付申請額 (経費×2/3以内)	内訳・使途
創業に必要な官公庁への申請書類作成等に係る経費		/	
店舗等借入費			
設備費	150,680		パソコン購入
マーケティング調査費			
広報費	500,500		チラシ・ポスティング・HP作成
合 計	651,180	434,000	

（補助金交付申請額は50万円以内※市内に移住・定住予定がある場合は100万円以内）

合計額の3分の2（千円未満切り捨て）を記入してください。

見積書またはカタログ等、購入するものの金額（補助対象経費）が分かるものを添付してください。